

シマムセンオーディオ試聴会 (2018.8.25)  
—Accuphase 新製品「DP-750」「A-75」試聴会—

1. はじめに

シマムセンで開催された Accuphase 新製品「DP-750」「A-75」試聴会に行ってきました。

2. 使用機器

使用機器ならびに当日のセッティングは以下のとおりです。

Accuphase 新製品 DP-750 & A-75 試聴会



8月25日(土) 15:00~17:00 会場: CYMA 2F 試聴室  
講師: メーカー担当者

機材	SACD プレーヤー	Accuphase	DP-750
	プリアンプ	Accuphase	C-3850
	パワーアンプ	Accuphase	A-75
	スピーカー	SonusFaber	Serafino Tradition
	クリーン電源	Accuphase	PS-1230



当日のセッティング

### 3. Accuphase「DP-750」「A-75」の試聴の経過

始めに機材の紹介があり、機器の詳細な説明を挟みながら試聴が行われました。

A-75とSonusFaber Serafino Traditionは、バイワイアリングで接続されています。

DP-750とA-75の詳細な解説内容はメーカーのサイトの説明に譲ります。

DP-750 : <https://www.accuphase.co.jp/model/dp-750.html>

A-75 : <https://www.accuphase.co.jp/model/a-75.html>

特に触れておきたいことは、DP-750のUSB入力では、DELAからのメーカーレスDSDに対応したことで、112MHzDSDおよび384KHz32bitPCMまで再生可能になったとのことでした。

試聴開始の最初に女性ボーカルがかかりましたが、声の質感が濃密でピアノの重量感も十分です。次にロッシーニの弦楽ソナタがかかりましたが、弦の艶は十分ですが、音が膨らみすぎて大味な感じが否めません。

次は、菅野録音のピアノによるジャズのソロがかかりましたが、録音の特徴をよく表現しており、おそらくはベーゼンドルファーであろうと思われるピアノの重量感を出し切っています。続いて、 Hammondオルガン、ヴィブラフォン、サクソなどのジャズコンボがかかりましたが、楽器の質感がリアルでした。

次のメンデルスゾーンのV協では、ヴァイオリンの弦の艶などはよく出ていますが、やはり音像が大きくなる傾向がありました。

この後、ポップス調のヴァイオリン、フルート独奏の管弦楽のアルルの女、JPOP、ラ・カンパネラ、女性ボーカル、ロック調の曲、女性ボーカルが順次再生されました。ボーカルものでは声の質感、その他も楽器の質感がよく再現されていましたし、ラ・カンパネラはアリス・沙良・オットーの演奏でしたが、実際にコンサートで聴いているので、演奏の技量やタッチはよく出ていたように感じました。ロック調の曲、女性ボーカルでは、低域の制動力が十分で、SonusFaberのスピーカーらしからぬ、締まった低音が聴けました。

### 4. まとめ

DP-750はDACチップにESS 9028Proを使用しているとのことで、クオリティの高い音を聴かせてくれましたし、A-75はA級アンプの直線性の良さと制動力が発揮されていました。SonusFaberのスピーカーは朗々となるところは好ましいのですが、時として音像が過大になる傾向があったのは、このスピーカーの特性かも知れません。

以上

